

## 様式第1号

## 事後評価シート

農政水産部

番号	事業名 箇所・地区名	市町村	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由 ※2	担当課
				着手	※1 再評価	完成			
5	水産流通基盤 整備事業 (本土・特定) 北浦地区	延岡市	外郭施設 L= 585m 水域施設 A= 11,500㎡ 係留施設 L= 400m、他 浮棧橋等 輸送施設 L= 1,180m 用地 A= 27,000㎡、他 護岸撤去等	H14	H24	H29	3,673	①	漁業管理課

## 【1 全体計画】

計画施設	計画工事	計画数量	計画事業費(千円)
外郭施設 L= 585m	1 北防波堤	L= 130 m	315,712
	2 防波護岸	L= 160 m	310,634
	3 沖防波堤	L= 50 m	341,175
	4 防波堤(改良)	L= 190 m	599,533
	5 防波護岸	L= 55 m	47,980
水域施設 A= 11,500㎡	6 -3.0m泊地	A= 2,000 m <sup>2</sup>	1,494
	7 -4.0m泊地	A= 6,000 m <sup>2</sup>	23,774
	8 -4.0m泊地(増深)	A= 3,500 m <sup>2</sup>	32,107
係留施設 L= 400m、 他 浮棧橋等	9 -4.0m岸壁(改良)	A= 100 m	430,713
	10 -3.0m岸壁(西)	L= 120 m	334,046
	11 浮棧橋(市振)	L= 1 式	318,572
	12 -4.0m岸壁(西)	L= 180 m	103,817
	13 -3.0m岸壁(照明)	N= 1 式	3,539
	14 浮棧橋(宮野浦)	N= 1 式	185,702
輸送施設 L= 1,180m	15 橋梁	L= 30 m	216,070
	16 道路(-4.0m岸壁背後)	L= 400 m	45,186
	17 道路B(-3.0m岸壁)	L= 650 m	65,771
	18 道路A(-3.0m岸壁)	L= 100 m	4,551
用地 A= 27,000㎡、 他 護岸撤去等	19 埋立(舗装)	A= 4,000 m <sup>2</sup>	6,802
	20 埋立(-4.0m岸壁)(南)	A= 8,000 m <sup>2</sup>	81,193
	21 埋立(-3.0m岸壁)	A= 15,000 m <sup>2</sup>	184,402
	22 護岸撤去(防風柵)	L= 220 m	20,539
合計			3,673,312

## 【2 事業目的】

北浦漁港は県北端の延岡市北浦町に位置し、リアス式の海岸線により天然の良港として栄え、漁業形態としては、あじ、さば、いわし類を対象としたまき網漁業と、ぶり、まだい等を対象とした養殖業を主幹とする地域であり、県内で最も水揚量の多い漁港である。

県北部の流通拠点、防災拠点漁港として果たす役割は極めて大きいものの、港内の静穏度の確保や陸揚げ作業の効率化、防災拠点としての整備が課題となっていた。

こうした課題に対応するため、防波堤整備、陸揚岸壁及び用地埋立・道路整備、耐震岸壁整備などを行うことで、安全で効率的な漁業環境を創出するとともに、県北部の流通及び防災拠点漁港の役割を担うものである。

## 様式第1号

## 事後評価シート

農政水産部

番号	事業名 箇所・地区名	市町村	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象理由 ※2	担当課
				着手	※1 再評価	完成			
5	水産流通基盤 整備事業 (本土・特定) 北浦地区	延岡市	外郭施設 L= 585m 水域施設 A= 11,500㎡ 係留施設 L= 400m、他 浮棧橋等 輸送施設 L= 1,180m 用地 A= 27,000㎡、他 護岸撤去等	H14	H24	H29	3,673	①	漁業管理課

## 【3 事業効果の発現状況等】

防波堤の整備により、港内の静穏域が拡大し荒天時の漁船避難スペースが確保されたことから、漁船同士の衝突が避けられ漁船の寿命が延びた。また静穏度の確保から他港への避難が解消され、出漁機会が増加した。さらに、岸壁や浮棧橋の整備により陸揚げ作業時間が短縮されるなど、就労環境が改善された。

項目	整備前	整備後	事業効果
漁船寿命の延長(防波堤)	7年	10.17年	漁船寿命3.17年延長
漁船避難の解消、出漁機会の増加(防波堤)	10回/年 避難	0回/年 避難	年間10回出漁機会増加
陸揚げ作業時間の短縮(浮棧橋)	25分	10分	15分短縮(200日/年)

## &lt;その他&gt;

## ○網修理作業時間の短縮(岸壁・用地埋立)

漁業者は狭いスペースで網干や網の修理等を行っていたが、広い作業スペースが生まれ作業効率が良くなった。

## ○移動時間短縮(橋梁)

橋梁の整備に伴い、荷運び車両の運搬時間が短縮され漁獲物の品質向上につながった。

## ○衛生環境の向上、作業環境の向上(用地舗装、道路)

用地舗装による衛生環境の向上、道路整備による陸上作業環境の向上及び安全性の向上が図られるなど、漁業作業全般にわたり就労環境の改善が図られた。

## 【4 事業による環境の変化や環境の保全】

施工時には、汚濁防止膜の設置のほか、施工環境監理者を配置する等、周辺海域の自然環境や水生生物の生息環境に配慮した施工に努めたことにより、環境の変化等は確認されていない。

## 【5 施設の維持管理状況】

漁港施設の機能保全計画を策定し、この計画に基づいて港湾事務所の職員により、施設の日常点検や維持管理等を適切に行っており、施設の維持管理状況は良好である。

## 【6 今後の課題等】

今後は、現在実施している地震津波対策の早期完成により事業効果を発現させ、かつ老朽化対策も計画的に実施していく必要がある。

総合評価	特記事項
漁港施設の整備により、水産物生産に係るコストの削減および就労環境の改善が図られ、事業効果の発現が認められる。	特になし

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載する。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。